

セメント技術大会 講演要旨原稿執筆要領

一般社団法人セメント協会

【執筆にあたっては、ホームページに掲載のテンプレート（Word）をご使用ください】
【原稿はカラーの状態でご提出ください。カラーでの掲載となります（白黒可）】

1. 講演要旨の体裁について

- （1）講演要旨は和文または英文で記述する。
- （2）原稿はA4判（幅 210mm×高さ 297mm）、横書きのものを2枚とする。余白は上下左右 余白 15mm とする。
- （3）原稿は1ページ当たり、25字×50行×2段組（中央 8mm スペース）とする。ただし、1ページ目の1行目から9行目までは1段組として題目や著者などを記述し、10行目より2段組として本文を開始する。
- （4）フォントはサイズを10.5ポイント（講演題目のみ14ポイント）とし、字体は以下の通りとする。
見出し※ MSゴシック ※大見出し、中見出しのみ
本文 日本語 MS明朝
英数字 Times New Roman
- （5）文章は簡潔に、原則として常用漢字および現代かなづかいを用い、用語については文部科学省学術用語、JISおよび関係学会等の用語辞典から選択することが望ましい。
- （6）文章の区切りには、全角の句読点「、」「。」を使用する。
- （7）単位や記号および英数文字は半角を用いて記述する。また、単位はSI単位系を標準とする。
- （8）ギリシャ文字およびローマ数字は、半角英数字フォント（Times New Roman）を用いて記述する。
例 α、β、γ、I、III、VI、i、iii、vi など

2. 講演題目および著者の表記について

※版下原稿の作成時に、一般研究発表の申込み内容を差し込みます。

3. 見出しの表記方法について

- （1）大見出しと中見出しはMSゴシックで、小見出しはMS明朝で記述する。
- （2）見出し番号は全角で記述する。
- （3）大見出しは区分毎に1行を空けて、中見出し・小見出しの場合は行を空けずに記述する。

例

1. まえがき ○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○。	[1行空]
2. 実験の概要	
2. 1 使用材料 ○○○、○○○○○○○○○○○。	
2. 2 試験方法	
(1) ○○○○試験 ○○○、○○○○○○○○○○○。	
(2) △△△試験 ○○○、○○○○○○○○○○○。	[1行空]
3. まとめ ○○○、○○○○○○○○○○○。	[1行空]
【参考文献】	
1) ○○○：○○○、○○○、p.○（○○○）	

4. 数式・化学式の表記方法について

- (1) 本文と区別ができるように、数式の上下で1行ずつ空ける。
- (2) 左端から全角4文字を空けて、数式を記述する。
- (3) 数式の右端に、全角[]付きの式番号(通し番号)を、点線は入れずに右揃えで記入する。
- (4) 本文中での引用は、「式 [1]」のように記述する。

例 (□は全角スペースを示す。)

・・・を以下の式 [1] に回帰した。
[1 行空]

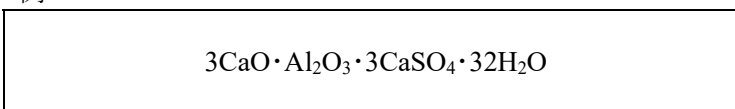
□□□□ $y = \sqrt{ax} + b$ [1]
[1 行空]

□□□□ここに y : ○○指数
 □□□□ a : 実験定数
 □□□□
[1 行空]

回帰するにあたり・・・

- (5) 半角を使用して記入する。半角英数字フォント(Times New Roman)を使用して記入する。

例



5. 図、表および写真の表記方法について

- (1) 明確に判読できるよう鮮明に作成する。
- (2) 図・表・写真中の説明は、和文原稿の場合は和文、英文原稿の場合は英文で記述する。
- (3) 本文と区別ができるように上下1行ずつ空ける。
- (4) 図・表・写真の番号は、それぞれ独立した通し番号を付ける。
- (5) タイトルおよび図表番号は中央揃えで、表の場合は上端、図および写真の場合は下端に記述する。
- (6) 本文中での引用は、図1、表1、写真1 (英文は、Fig. 1、Table 1、Photo. 1)のように記述する。

例

に使用した材料の化学的性質を表1に示す。の結果を図1に示す。
[1 行空] [1 行空]

表1 使用材料の化学的性質

[1 行空]

これらの材料を使用して、○○○○○○○○
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

図1 焼成温度の影響
 [1 行空]

その結果、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

6. 参考文献の表記方法について

- (1) 前段より1行空け「【参考文献】」を記述し、改行した後に文献の詳細を記述する。
- (2) 文献番号 著者名^{※1} : 論文題名、雑誌(書)名、巻号、発行所^{※2}、頁^{※3} (発行年)
 の順に、文献の詳細を記述する。
- (3) 本文中での引用は、¹⁾、²⁾のように半角英数字を使用して、文献番号を上付き片括弧で記入する。

例

・・・らの結果りと同様の結果となった。

[1行空]

【参考文献】

- 1) 月山一夫、羽黒次朗：セメントの種類と〇〇に関する研究、セメント・コンクリート論文集、No.〇〇、pp.23-29(19〇〇)
- 2) 湯殿満男ほか：〇〇装置を用いた硬化コンクリート中の△△組織測定方法、セメント・コンクリート、No. △△、p.63(20△△)

- ※1 著者名は、姓名の間にスペースを入れない。
著者が複数名いる場合、著者間の区切りは読点「、」を使用する。
著者が3名を超える場合は、筆頭著者以外を「ほか」として省略してください。
- ※2 参考文献が書籍の場合は、発行所を記述する。
- ※3 引用する頁が、1頁の場合は p.〇〇、複数頁の場合は pp.〇〇-〇〇と記述する。

7. 問合せ先

ご不明な点は下記までお問合せください。

一般社団法人セメント協会 研究所
技術情報グループ セメント技術大会 担当
TEL 03-3914-2692
MAIL jca_event※jcassoc.or.jp ※は@を入れる

以 上